

子ども・子育て支援に係るニーズ調査 【就学前児童保護者用】

【調査ご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政の推進について、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

相生市では、早ければ平成27年度に施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けた準備を進めております。新制度は幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための制度で、国が定める「基本指針」に基づいた「子ども・子育て支援事業計画」を各市町村が策定することとされています。

つきましては、皆様の子育て支援に関する現在の状況、今後の利用希望など地域における様々なニーズを正確に把握し、「子ども・子育て支援事業計画」の策定に活かしていくため、「子ども・子育て支援に係るニーズ調査」を行うこととなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さん全員を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

また、皆様から頂きましたご回答の集計結果は、市の広報紙及びホームページを通じて公表いたします。

相生市の総合的な子ども・子育て支援対策の推進に向けた大変重要な調査ですので、ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

相生市長 谷 口 芳 紀

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さん（10月末現在）の状況についてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。なお、数字は□欄に右づめでご記入ください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて11月15日（金）までにご投函ください。（保育所・幼稚園から配布があった方は、投函せずに直接、保育所・幼稚園に提出してください。）
8. お問い合わせは、健康福祉部子育て支援室までお願いします。

（電話22-7175）

回答するに当たってお読みください

相生市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成 27 年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を相生市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

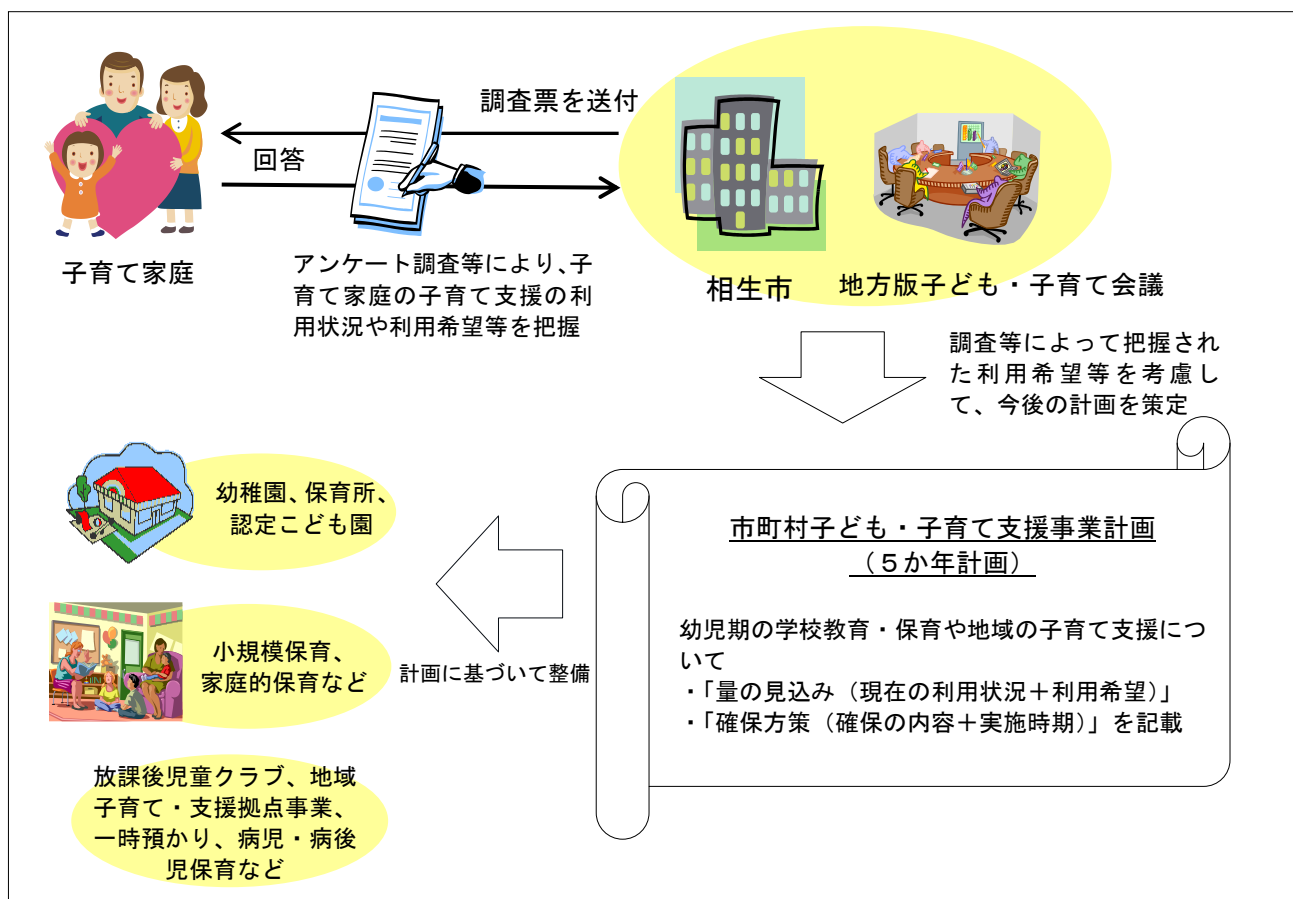
ごきょうだいについても、利用時期等が異なるためお子様全員の状況を把握する必要があります。お手数ですが、個々のお子様について、それぞれの調査票においてご回答をお願いいたします。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 相生小学校区 | 2. 那波小学校区 | 3. 双葉小学校区 | 4. 若狭野小学校区 |
| 5. 矢野小学校区 | 6. 青葉台小学校区 | 7. 中央小学校区 | |

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入下さい。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------|-----------|------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他 () |

問 10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる／ある

2. いない／ない

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

あて名のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます。

問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない

2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いているが、産休・育休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない

4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いているが、産休・育休・介護休業中である

5. 以前は働いていたが、現在は働いていない

6. これまで働いたことがない

⇒ (1)-1へ

⇒ (2)へ

（1）で「1. ～4.」に○をつけた方にうかがいます。

(1)-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。時間は、必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1週当たり 日

1日当たり 時間

家を出る時刻 時 分

帰宅時刻 時 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	⇒ 問 14へ
6. これまで働いたことがない	

(2)で「1. ～4.」に○をつけた方にうかがいます。

(2)-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。時間は必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり		日	1日当たり			時間				
家を出る時刻			時			分				
				帰宅時刻			時			分

問 13 問 12 の（1）または（2）で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の働き方）で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の働き方）で働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つ に○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）

2. 1年後以降で 年後から働きたい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい

※ 下記の当てはまる記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。
（数字は一枠に一文字）

→希望する働き方

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）
イ. パート・アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

4. その他（ ）

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）

2. 1年後以降で 年後から働きたい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい

※ 下記の当てはまる記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。
（数字は一枠に一字）

→希望する働き方

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）

イ. パート・アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

4. その他（ ）

平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園・保育所など）の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。各事業の概要・該当施設等は「別紙 相生市の子育て支援サービス」をご覧ください。

問 15 あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 市立幼稚園（通常の就園時間の利用）	2. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）
3. 市立認可保育所	4. 私立認可保育所
5. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	6. 事業所内保育施設
7. その他の認可外の保育施設	8. 家庭的保育（保育ママ）
9. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	10. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	12. その他（ ）
13. どれも利用していない ⇒ 問 15-7	

問15-1～問15-3は、問15で「1.」～「12.」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問 15-1 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。「1週当たり何日」、「1日当たり何時から何時まで」かを、□内に具体的な数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）時間は必ず（例）09時30分～18時45分のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たり		日	1日当たり			時			分	～			時			分
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	---	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---

（2）希望

1週当たり		日	1日当たり			時			分	～			時			分
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	---	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---

問 15-2 現在、利用している主たる教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 相生市	2. 他の市区町村
--------	-----------

問 15-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在働いている
3. 子育て（教育を含む）をしている方が働く予定がある／仕事をさがしている
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問15-4～問15-6は、問15で「1」～「7」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。それ以外の方は問16へ

問 15-4 利用されている保育施設等へ通園する手段についてうかがいます。主な通園手段を1つ選んで○をつけてください。

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車
4. 通園バス 5. 路線バス 6. 電車
7. その他（ ）

問 15-5 利用されている施設を選んだ理由についてうかがいます。主な理由を3つまで選んで○をつけてください。

1. 通勤距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）
2. 保育（教育）方針やその内容がよいから
3. 保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎等）
4. 施設・設備が整っているから（園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等）
5. 保育料・その他の経費の負担が少ないから
6. 家族や知り合いが通っている（通っていた）から
7. 近所や知人の評判がよいから
8. 公立だから
9. 私立だから
10. その他（

問 15-6 利用されている施設の満足度についてうかがいます。項目ごとに当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

	満足度が低い ← → 満足度が高い				
	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
保育（教育）方針及びその内容	1	2	3	4	5
保育に伴うサービス（預かり時間、バス送迎等）	1	2	3	4	5
保育士・教諭の信頼性	1	2	3	4	5
給食・食育	1	2	3	4	5
施設・設備	1	2	3	4	5
保育料・その他の経費	1	2	3	4	5
安全確保のための配慮	1	2	3	4	5

問15-7は、問15で「13.」を選ばれた方にうかがいます。

問 15-7 利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が働いていないなどの理由）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた保育料が設定されています。

- | | |
|--|---|
| 1. 市立幼稚園（通常の就園時間の利用） | 2. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 3. 市立認可保育所 | 4. 私立認可保育所 |
| 5. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） | 6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 7. その他の認可外の保育施設 | 8. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 9. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） | 10. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの） |
| 11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） | 12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 13. その他（ <input type="text"/> ） | |

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけ、「2.」を選択した場合は該当する市区町村名を記入してください。（県外市区町村を含みます。）

1. 相生市

2. 他の市区町村（市区町村名：）

問 16-6 市立幼稚園と市立保育所を一体的に運営する認定こども園の普及についてどのようなお考えをお持ちですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 普及したほうがよい ⇒問 16-7 へ

2. 普及しなくてよい ⇒問 16-8 へ

問 16-7 は、問 16-6 で「1.」を選ばれた方にうかがいます。

問 16-7 普及したほうがよいと思う主な理由をあてはまる番号 2 つまで選んで○をつけてください。

1. 地域の子どもが親の就労の有無に関わらず、同じ地域で一緒に過ごすことができる
2. 同じ年齢の子どもたちが、同じ内容の幼児期の学校教育を受けることができる
3. 園児数が増え、互いに励まし合ったり競い合ったりすることで、よい成長が期待できる
4. 一体化施設になることで施設・設備が整う
5. 市の財政運営上効率のよい運営が期待できる
6. その他 ()
7. 特にない

問 16-8 は、問 16-6 で「2.」を選ばれた方にうかがいます。

問 16-8 普及しなくてよいと思う主な理由をあてはまる番号 2 つまで選んで○をつけてください。

1. 地域の幼稚園・保育所がなくなる
2. 校区以外の子どもが一緒になる可能性があるため、地域とのつながりが希薄になる
3. 少人数によるきめ細かな対応ができなくなる
4. 親の就労状況等により考え方の違いがあるため、保護者会などの活動に不安がある
5. その他 ()
6. 特にない

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て学習センター」「まちの子育てひろば」等と呼ばれています。）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1. 地域子育て支援拠点事業（子育て学習センター）

1 週当たり

回

もしくは

1 ヶ月当たり

回程度

2. その他当該自治体で実施している同様の事業（まちの子育てひろば・子育てサロン）

1 週当たり

回

もしくは

1 ヶ月当たり

回程度

3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1. 利用していないが今後利用したい			
1 週当たり	回	もしくは	1 ヶ月当たり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい			
1 週当たり	更に 回	もしくは	1 ヶ月当たり 更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない			

問 19 相生市が実施したり、実施しようとしている下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用した ことがある	C 今後利用したい
①保健センターの相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②幼稚園が実施する相談事業 （幼児教育センター）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③少年育成センターの相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所が実施する事業 （マイ保育所登録事業など）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤公民館（ひよこクラブなど）、 主任児童委員が実施する事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦相生市が発行している子育て支援情 報誌（子育てマップ）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧相生市が発行している子育て支援情 報誌（こどもイベントカレンダー）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時 30 分～18 時 45 分のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

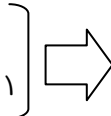
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（１）土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に１～２回は利用したい



利用したい時間帯

分から

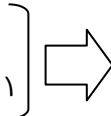
分まで

（２）日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に１～２回は利用したい



利用したい時間帯

分から

分まで

問 20 の（１）もしくは（２）で「3. 月に１～２回は利用したい」と答えた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他（

）

幼稚園を利用されている方にうかがいます。

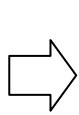
問 21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時 30 分～18 時 45 分のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※現在、相生市の市立幼稚園では、この事業はありません。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい



利用したい時間帯

分から

分まで

問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1.」～「12.」のいずれかを選ばれた方）にうかがいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問22-1へ 2. なかった ⇒ 問23へ

問 22-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	日
2. 母親が休んだ	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他()	日

⇒ 「1」「2」を選んだ方は 問 22-2 へ
⇒ 「3」～「9」を選んだ方は 問 23 へ

問 22-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問22-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ） |
|--|

⇒ 問 23へ

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そうと思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| <p>1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安</p> <p>3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよいくない</p> <p>5. 利用料がわからない</p> <p>7. その他（ ）</p> | <p>2. 地域の事業の質に不安がある</p> <p>4. 利用料がかかる・高い</p> <p>6. 親が仕事を休んで対応する</p> |
|--|---|

⇒ 問 23へ

問 23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※泊まりがけで利用する場合を除きます。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. ベビーシッター	日
5. その他（ ）	日
6. 利用していない	⇒ 問23-1へ

⇒ 問24へ

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

- 問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、勤務日が一定でない仕事等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

問24-1へ	1. 利用したい	合計				日
	ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	計				日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	計				日
	ウ. 勤務日が一定でない仕事	計				日
	エ. その他（ ）	計				日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ						

- 問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園・保育所等で子どもを預かる事業 |
| 2. 地域子育て支援拠点等で子どもを預かる事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ <input type="text"/> ） |

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者、家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければいけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、あった場合は、この1年間の対処法として当てはまる記号 すべてに ○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

	1年間の対処法	日数
1 あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
2 なかった		

問 25 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ **5歳未満の方は、問 30 へ**

- 問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

「放課後児童クラブ（学童保育）」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1 自宅	➡	週 日くらい
2 祖父母や友人・知人宅	➡	週 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	➡	週 日くらい
4 放課後子ども教室 ※1	➡	週 日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）	➡	週 日くらい ⇒下校時から 時まで ⇒ 問27へ
6 ファミリー・サポート・センター	➡	週 日くらい
7 その他（公民館、県民交流ひろば、公園など）	➡	週 日くらい

※1「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず全ての小学生が利用できます。

問 26 で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」を選ばれた方にうかがいます。
該当しない方は、問 28 へお進みください。

- 問 27 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）になったとき、学校休業日（土曜日と日曜日・祝日）、長期休業中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1つに ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

①学校休業日	1	時から 時まで利用したい
	2	利用する必要はない
②長期休業中 （夏休み・冬休み等）	1	時から 時まで利用したい
	2	利用する必要はない

問 28 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※だいたひ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	➡	週 日くらい
2 祖父母や友人・知人宅	➡	週 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	➡	週 日くらい
4 放課後子ども教室・相生っ子学び塾 ※2	➡	週 日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）	➡	週 日くらい ⇒下校時から 時まで ⇒ 問29へ
6 ファミリー・サポート・センター	➡	週 日くらい
7 その他（公民館、県民交流ひろば、公園など）	➡	週 日くらい

※2「相生っ子学び塾」…地域の方々の協力を得て、基礎学力の向上や自ら学びたいと考えている子ども（小学5、6年生）を対象に放課後（国、算）土曜日（英）の塾を開設しています。

問 29 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6 年生）になったとき、学校休業日（土曜日と日曜日・祝日）、長期休業中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。下記の当てはまる番号に○をつけてください。（①4 年生、②5 年生、③6 年生ごとに、○は1つ）

※ 平日の利用希望は除く

①4 年生	1 利用したい	2 長期休業中のみ利用したい	3 利用したいと思わない
②5 年生	1 利用したい	2 長期休業中のみ利用したい	3 利用したいと思わない
③6 年生	1 利用したい	2 長期休業中のみ利用したい	3 利用したいと思わない

すべての方に育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください） （いくつでも）	⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください） （いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問 30-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の条件を満たす場合は 1 歳 6 か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つ に○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

(2) 父親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ か月 希望 □ 歳 □ □ か月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ か月 希望 □ 歳 □ □ か月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 母親

□	歳	□	□	か月
---	---	---	---	----

(2) 父親

□	歳	□	□	か月
---	---	---	---	----

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 30-2 で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 あて名のお子さんが1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1 歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1 歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1 歳になる前に復帰したい

すべての方に、子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問 31 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。

1. 非常に不安や負担を感じる

2. なんとなく不安や負担を感じる

3. あまり不安や負担などは感じない

4. まったく感じない

5. なんともいえない

問 32 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること

2. 食事や栄養に関すること

3. 育児の方法がよくわからないこと

4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと

5. 子どもとの時間を十分にとれないこと

6. 話し相手や相談相手がいないこと

7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと

8. 子どもの教育に関すること

9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること

10. 登校拒否、不登校などの問題について

11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと

12. 子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと

13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること

14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと

15. 子どもを叱りすぎているような気がする

16. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと

17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと

18. その他（)

19. 特にない

問 33 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲れが大きい
2. 子育てで出費がかさむ
3. 自分の自由な時間が持てない
4. 夫婦で楽しむ時間がない
5. 仕事が十分にできない
6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
7. 子どもが病気がちである
8. 住居が狭い
9. その他（ ）
10. 負担に思うことは特にない

問 34 仕事と子育てを両立させえる上で大変だと感じることは何ですか。主にあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみななければならない人がいる
6. 子どもの面倒をみってくれる施設などが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. その他（ ）

すべての方に、子育てに関する悩みの相談相手についてうかがいます。

問 35 身近な地域で子育てに関する悩みや不安をどなたに相談していますか。あてはまる番号すべてに
○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. その他の親族（親、きょうだいなど）
3. 知人や友人
4. 近所の人
5. 職場の人
6. 保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間
7. 子育てサークルの仲間
8. 子育てサポーター
9. 保育士・幼稚園の先生・学校の先生
10. 医師・保健師・看護師・栄養士など
11. 家庭児童相談室（子育て支援室）
12. 地域子育て支援センター（子育て学習センター）
13. まちの子育てひろば（子育てサロンなど）
14. 母子自立支援員
15. 民生・児童委員、主任児童委員
16. 少年育成センター（教育相談）
17. 保健センター（健康介護課）
18. 健康福祉事務所
19. こども家庭センター（児童相談所）
20. 民間の電話相談
21. ベビーシッター
22. 相談相手がいらない
23. その他（ ）
24. 相談する悩みや不安はない

すべての方に、市の子育て・定住施策についてうかがいます。

問 36 あなたは、相生市にお住まいになって何年になりますか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 1 年未満 | 2. 1 年～3 年未満 | 3. 3～5 年未満 |
| 4. 5 年～10 年未満 | 5. 10 年～20 年未満 | 6. 20 年～30 年未満 |
| 7. 30 年以上 | | |

問 37 あなたは、相生市に住む以前（直前）は、どちらに住んでいましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

※「相生市を除く西播磨地域」とは、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 相生市を除く西播磨地域 | |
| 2. 西播磨地域を除く兵庫県内 | |
| 3. 兵庫県以外（市区町村名： | ） |
| 4. 生れてからずっと相生市に住んでいる | |

問 38 相生市が「子育て応援都市」を平成 23 年 4 月 1 日に宣言したことを知っていますか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 39 相生市が取り組んでいる次の事業（11 の鍵）をご存知ですか。各事業について、それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

※事業の概要は、別紙パンフレット『A10I あいおい』をご覧ください。

	利用している (利用したことがある)	事業は知っている	知らない
出産祝金支給事業	1	2	3
保育料軽減事業	1	2	3
市立幼稚園預かり事業	1	2	3
市立幼稚園給食事業	1	2	3
給食費無料化事業	1	2	3
子育て応援券交付事業	1	2	3
乳幼児等・こども医療費助成事業	1	2	3
新婚世帯家賃補助金交付事業	1	2	3
若者定住促進奨励金交付事業	1	2	3
転入者住宅取得奨励金交付事業	1	2	3
相生っ子学び塾事業	1	2	3

問 40 問 39 で「利用している（利用したことがある）」と答えた事業の満足度について、「1」～「5」のうち当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※あて名以外のお子様が該当する場合も含めてお答えください。

	満足度が低い ← → 満足度が高い				
	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
出産祝金支給事業	1	2	3	4	5
保育料軽減事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園預かり事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園給食事業	1	2	3	4	5
給食費無料化事業	1	2	3	4	5
子育て応援券交付事業	1	2	3	4	5
乳幼児等・こども医療費助成事業	1	2	3	4	5
新婚世帯家賃補助金交付事業	1	2	3	4	5
若者定住促進奨励金交付事業	1	2	3	4	5
転入者住宅取得奨励金交付事業	1	2	3	4	5
相生っ子学び塾事業	1	2	3	4	5

問 41 「子育て応援都市」を宣言している相生市の子育て・定住施策として相生市が取り組んでいる事業の必要性についてうかがいます。項目ごとにあてはまる事業の番号 1 つに○をつけてください。

	必要性が低い ← → 必要性が高い				
	必要性 低い	必要性 やや低い	どちらでも ない	必要性 やや高い	必要性 高い
出産祝金支給事業	1	2	3	4	5
保育料軽減事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園預かり事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園給食事業	1	2	3	4	5
給食費無料化事業	1	2	3	4	5
子育て応援券交付事業	1	2	3	4	5
乳幼児等・こども医療費助成事業	1	2	3	4	5
新婚世帯家賃補助金交付事業	1	2	3	4	5
若者定住促進奨励金交付事業	1	2	3	4	5
転入者住宅取得奨励金交付事業	1	2	3	4	5
相生っ子学び塾事業	1	2	3	4	5

問 42 「子育て応援都市」として上記の事業以外にどのような事業が必要だと思いますか。ご自由にご記入ください。

--

問 43 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	満足度が低い ← → 満足度が高い				
	不満	やや不満	どちらでも ない	やや満足	満足
地域における子育て環境や支援への満足度	1	2	3	4	5

問 44 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

保育所・幼稚園から配布された方は、同封の封筒に入れ、

投函せずに保育所・幼稚園へ直接、ご提出ください。